第9回 D科 コンピュータ基礎および演習

平成11年6月11日 3時限~4時限

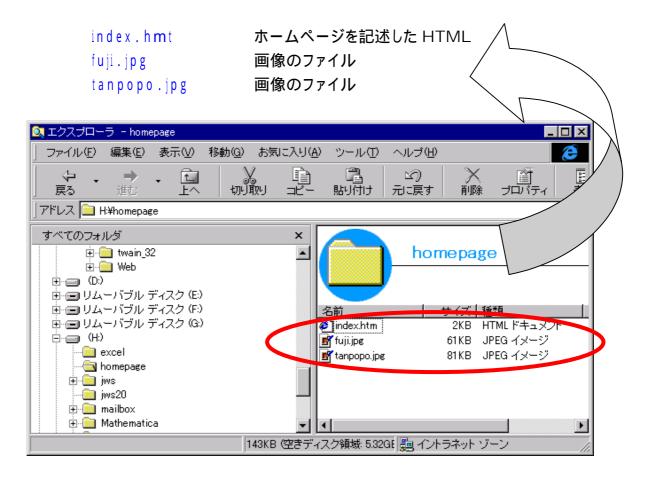
- 1.前回アンケート調査結果について
- 2. お絵描きソフト(ペイント)
- (1) 起動と終了
- (2) 基本操作
- (3) ファイルへ保存
- 3.ファイル形式の変換(ペイントショップ)
- (1) 起動と終了
- (2) 基本操作
- (3) ファイルへ保存

小休止

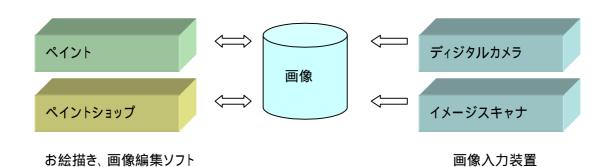
- 4. ホームページ作成(自習、質問への対応)
- 5.アンケート調査

1. 本日の実習全体の流れ

前回の授業で、フォルダhomepageの中に各自のホームページを作成した。フォルダ(homepage)の中には、画像のファイルが存在している。

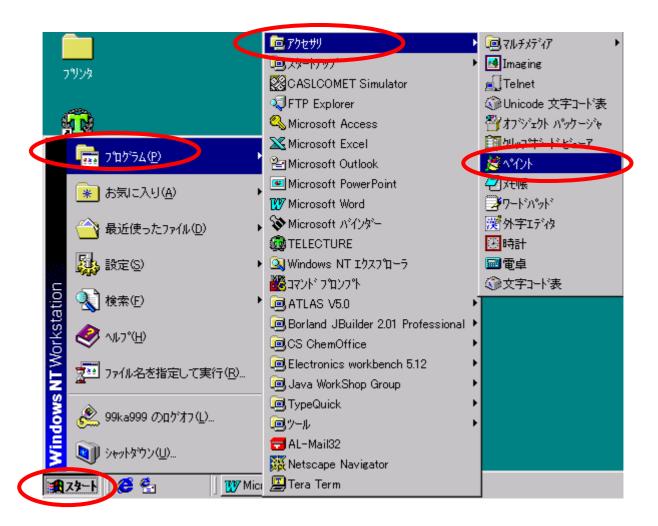


ペイントで作成した絵を、ホームページで活用できるように変換する方法を説明します。

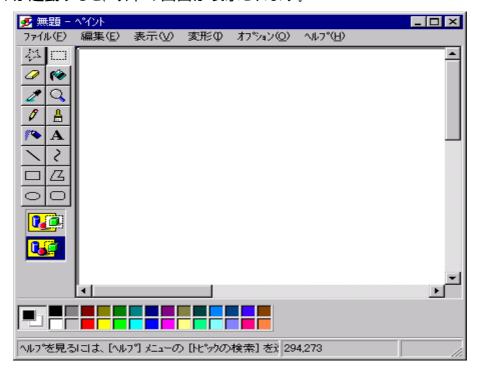


2.ペイントを使ったお絵描き

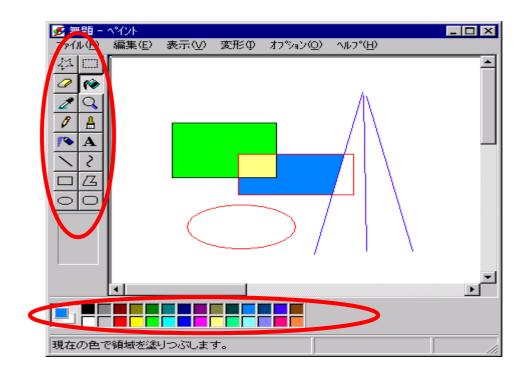
ペイントの起動は、[スタート][プログラム][アクセサリ][ペイント]の順にクリックします。



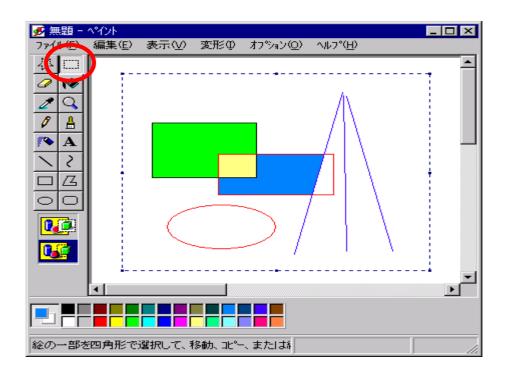
ペイントが起動すると、以下の画面が表示されます。



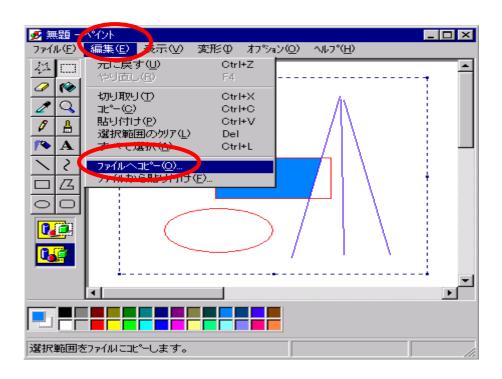
ツールを使って、適当な絵を描いてみましょう。



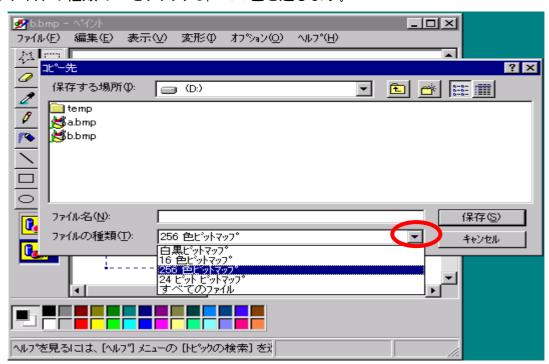
ホームページで利用する領域を選択します。



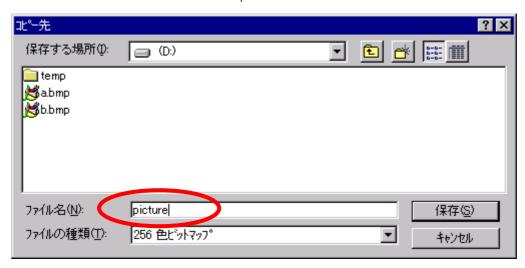
[編集][ファイルへコピー]の順にクリックします。[ファイル]メニューを選ばないこと。



ファイルの種類の をクリックし、256色を選びます。



ファイル名を入力します。この例では、pictureという名前にしてあります。



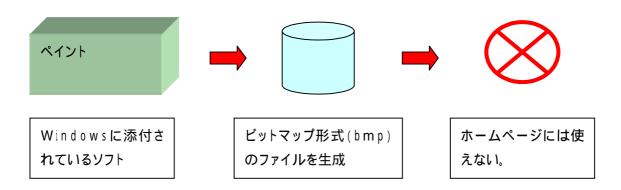
これで、画像ができあがりました。[ファイル][ペイントの終了]の順にクリックし、終了します。

(注意)画像の保存は、[ファイル][名前をつけて保存]を使っても行えますが、ペイントの画面全体が保存され、巨大な画面になります。ホームページ用に利用する画像は、必要最小限の大きさにします。

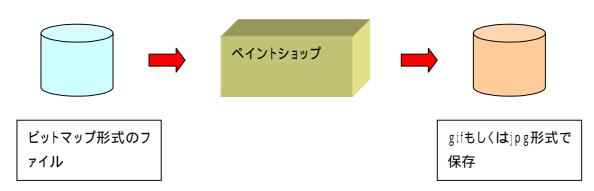
3. 画像の形式変換手順

Windowsの世界でお絵描きを行うためには、ペイントを使うことが一般的です。ペイントは、Windowsに添付されているソフトウェアだからです。機能はシンプルですが、ホームページの画像を作るために活用できます。

ただし、ペイントで作成した画像はホームページで扱える形式でないため、そのままでは使えません。



ホームページで扱える画像は、ジェイペグ(jpg)もしくはジフ(gif)形式です。したがって、ペイントで作成したファイルを、ホームページで表示できる形式に変換する必要があります。このような変換を行う方法はいくつかありますが、教育システムでは、ペイントショップを利用する方法が便利です。

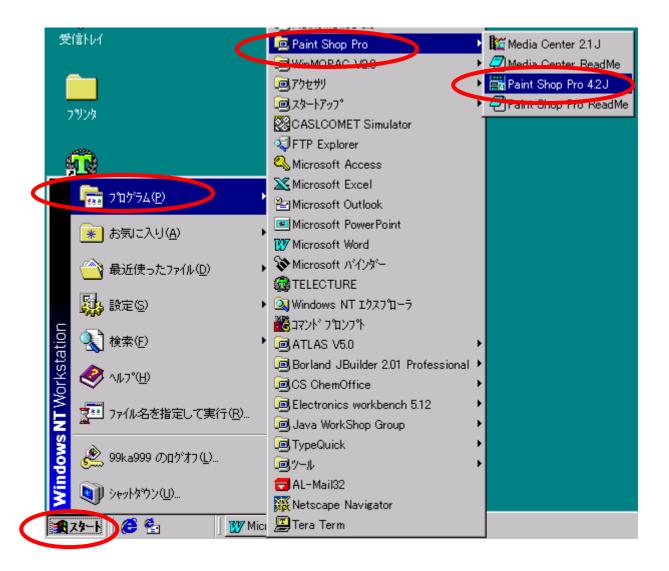


gifは、お絵描きソフトで作成した絵を保存するときに使います。 jpgは、写真を保存するときに使います。

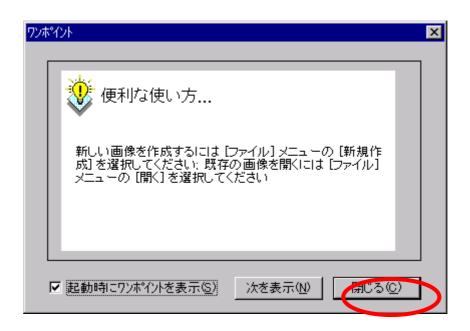
自宅でペイントが利用できれば、自宅で絵を作成し、学校で形式を変換することによってホームページに表示できる画像を効率良く作成することができます。活用してください。〈れぐれも絵の大きさは、必要最小限にすることを忘れないでください。

4.ペイントショップの起動

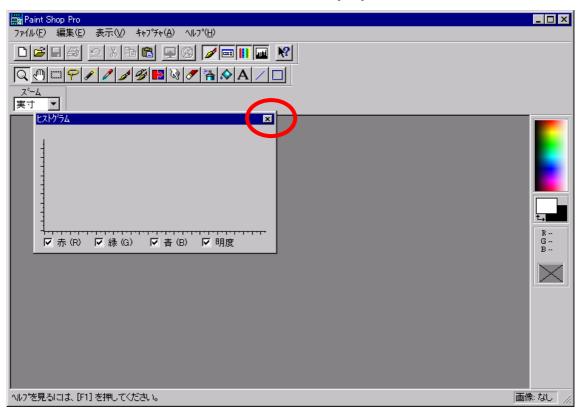
[スタート][プログラム][Paint Shop Pro][Paint Shop Pro 4.2J]の順にクリックします。



しばらくすると、ワンポイントが表示されます。[閉じる]をクリックします。



ヒストグラムのウインドウも、今は使いませんので[×]をクリックします。

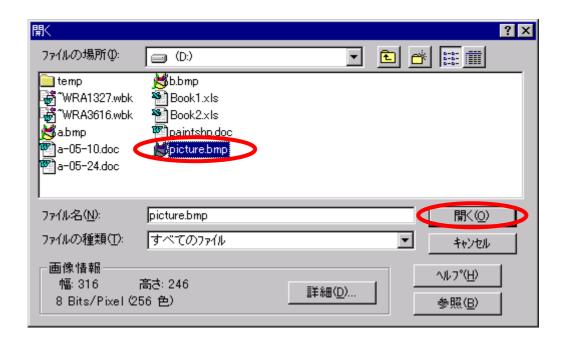


5.ファイルの読み込み

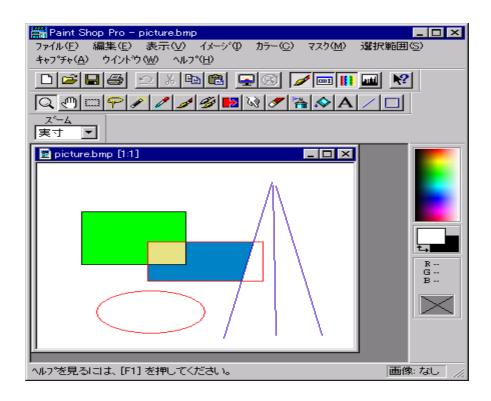
ペイントで作成した絵を、ペイントショップに読み込みます。[ファイル] [開く]の順にクリックします。



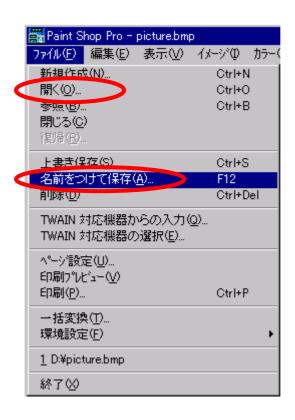
ペイントの例で保存したpictureを選択し、[開く]をクリックします。



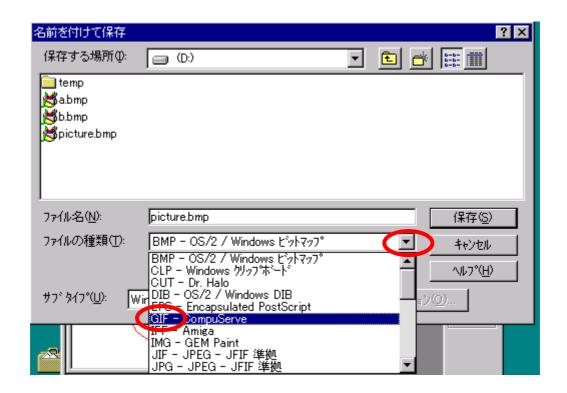
ペイントで描いた絵が表示されます。



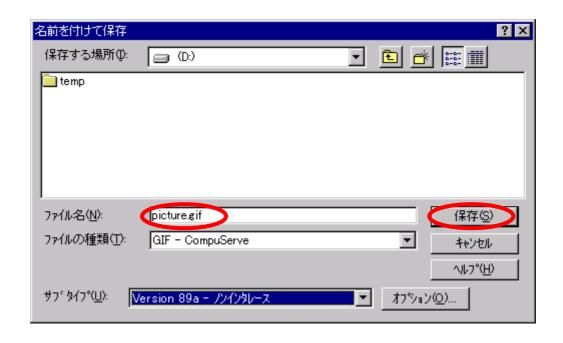
[ファイル][名前をつけて保存]の順にクリックします。



ファイルの種類のをクリックし、GIFを選びます。



ファイル名は自動的に、picture.gifになります。[保存]をクリックします。



これで、gif形式への変換が完了です(要するに、読み込んで保存するだけです)。